

かがわ 産業情報 21

2024
SPRING

4

vol.92

年4回発行

成功への道筋が見えてくる！
かがわの産業界の今をお届けする

TOP NEWS 1

第31回

芦原科学賞の受賞者決定

芦原科学賞の受賞者と業績

TOP NEWS 2

かがわ魅力発見事業 新商品開発成果報告会を開催

- 特集① 令和6年度 かがわ産業支援財団の重点事業
- 特集② 令和6年度 香川県の主な中小企業支援事業
- 特集③ 新かがわ中小企業応援ファンド等事業
令和6年度の助成対象事業決定

🌞 かがわ発! 元気創出企業

白川農場株式会社

香川県産にんにくの知名度アップを目指し
使いやすく買いたくなる「にんにく商品」を展開



公益財団法人

かがわ産業支援財団

KAGAWA INDUSTRY SUPPORT FOUNDATION

<https://www.kagawa-isf.jp>



第31回 芦原科学賞の受賞者決定

第31回芦原科学賞は、令和5年8月14日から10月13日にかけて募集を行い、技術開発等審査委員会(委員長:田村禎通徳島文理大学学長)及び芦原科学賞選考委員会(委員長:上田夏生香川大学学長)に諮り、受賞案件を決定しました。

そして、令和6年2月29日(木)に高松市内のホテルにおいて、池田豊人知事の御出席をいただき贈呈式が開催されました。贈呈式では、まず芦原科学賞の顕彰があり、近藤理事長から芦原科学大賞に決定した四国化成工業株式会社の熊野岳氏、松田晃和氏、武田琢磨氏、奥村尚登氏、藤川和之氏、青木和徳氏、荒井利将氏に賞状・楯と賞金(200万円)が、芦原科学功労賞に決定した株式会社未来機械の三宅徹氏、森田和郎氏、島崎朋浩氏、吉村基氏、藤堂卓也氏、土井一三氏、廣瀬修治氏に賞状・楯と賞金(100万円)が、芦原科学奨励賞に決定した建口ボテック株式会社の眞部達也氏に賞状・楯と賞金(50万円)が授与されました。



(公財)かがわ産業支援財団では、高松市出身の故芦原義重関西電力(株)名誉会長からの寄附金を基金として、自然科学系分野において、県内の産業技術の高度化及び産業の振興に寄与することを目的に、平成5年度から、研究者の顕彰のための「芦原科学賞」事業を行っています。

CONTENTS

2024年4月 vol.92 発行(年4回発行)

かがわ産業情報 21

4

TOP NEWS 1

- 第31回 芦原科学賞の受賞者決定1
 芦原科学賞の受賞者と業績2

TOP NEWS 2

- かがわ魅力発見事業
 新商品開発成果報告会を開催3

- 特集① 令和6年度 かがわ産業支援財団の重点事業5

- 特集② 令和6年度 香川県の主な中小企業支援事業7

- 特集③ 新かがわ中小企業応援ファンド等事業
 令和6年度の助成対象事業決定9

支援事例紹介

- 機能性表示食品届出支援事例の紹介10

財団の活動報告

- 令和5年度 かがわ産業振興クラブセミナーを開催11
 ビジネスに役立つ知財塾【初心者編】&個別相談会を開催11
 知的財産研究会セミナーを開催11

財団からのお知らせ

- 令和6年度 起業等スタートアップ支援補助金
 (地域課題解決型)の受付開始12
 地域資源活用輸出商品開発支援事業の募集12
 令和6年度 若手社員ステップアップ研修 受講生募集12



かがわ元気! 元気創出企業

- 香川県産にんにくの知名度アップを目指し使いやすく買いたくなる「にんにく商品」を展開
 「白川農場株式会社」13

芦原科学賞の受賞者と業績

芦原科学大賞

テーマ スマートフォン・半導体機器の高機能化に貢献する新規樹脂硬化剤の開発

受賞者: 四国化成工業株式会社 熊野 岳、松田 晃和、武田 琢磨、奥村 尚登、藤川 和之、
青木 和徳、荒井 利将

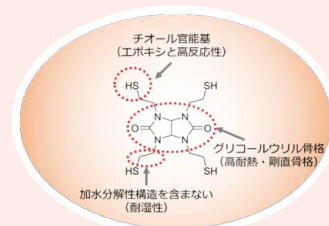
推薦者: 四国化成ホールディングス株式会社 代表取締役社長 渡邊 充範

業績

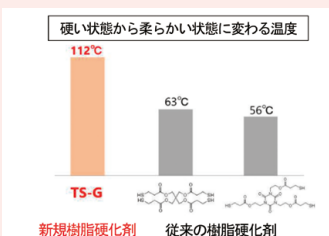
受賞者は、従来よりも低い温度条件でエポキシ樹脂を硬化・成形させることができ、優れた耐熱性と耐湿性を持つ新規樹脂硬化剤を世界で初めて開発した。硬化・成形条件の低温化は、成型時のエネルギー効率改善により環境負荷を低減することができ、また、本製品は電子材料用高機能接着剤としてスマートフォンや半導体機器等の様々な最先端用途で採用されており、これらの高機能化に大きく貢献している。

受賞者のコメント

栄誉ある芦原科学大賞を賜り、誠にありがとうございます。今回の受賞は、社内外の関係者様の多大な御協力により成就したものであり、心より感謝申し上げます。今後も、社は「独創力」を強みとした斬新な新規材料を開発し続けることで、世界の技術革新・サステナブル社会実現に貢献していく所存です。



▲新規樹脂硬化剤の化学構造説明図



▲エポキシ樹脂硬化剤の耐熱性比較

芦原科学功労賞

テーマ 中東の砂漠で働くソーラーパネル清掃ロボットの開発

受賞者: 株式会社未来機械 三宅 徹、森田 和郎、島崎 朋浩、吉村 基、藤堂 卓也、
土井 一三、廣瀬 修治

推薦者: 国立大学法人香川大学大学院工学研究科 准教授 石原 秀則
(兼) 株式会社未来機械 技術顧問 (研究担当)

業績

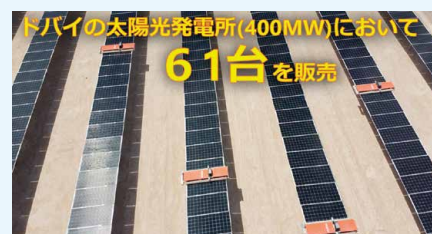
受賞者は、砂漠地域での太陽光発電の普及と、砂塵によるソーラーパネルの汚れにより発電効率が低下することを予見し、その課題解決のため、水を使わない自律移動型ソーラーパネル清掃ロボットの開発に取り組み、世界で初めてこれを実用化した。本製品は、ドバイにある世界最大級の太陽光発電所にも大規模導入されて連日稼働しており、砂漠地域における太陽光発電を支える重要な基盤技術として、再生可能エネルギーの普及拡大に大きく貢献している。

受賞者のコメント

香川大学から始まった私たちのベンチャー企業が、設立20年の節目に芦原科学賞を受賞したことは大変光栄です。「テクノロジーでロボットを当たり前存在にし、人々を苦役から解放する」というミッションに向かって、新たな挑戦を続けて参ります。ご支援いただきましたすべての方々に、心より感謝申し上げます。



▲ソーラーパネル清掃ロボットの特徴



▲太陽光発電所で稼働中の清掃ロボット

芦原科学奨励賞

テーマ 鉄筋結束用省人・省力化ロボット「トモロボ」の研究開発

受賞者: 建口ボテック株式会社 眞部 達也

応募者: 建口ボテック株式会社 代表取締役社長兼CEO 眞部 達也

研究評価

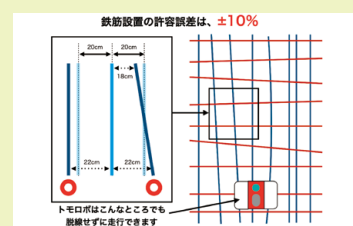
受賞者は、従来人手でしかできなかった鉄筋結束作業を自動で行うロボットの開発に取り組み、鉄筋のズレがあっても安定した結束を行えるなど現場で施工できるものとして初めて製品化に成功した。これにより、夏季の炎天下、冬季の凍える寒さ及び鉄筋上の不安定な足場など厳しい環境での長時間作業から職人を解放し、心身の負担軽減が図れるようになるとともに、建設現場の労働力不足解消や生産性向上にも大きく貢献するものである。

受賞者のコメント

栄誉ある芦原科学奨励賞を賜り、誠にありがとうございます。鉄筋結束用省人・省力化ロボット「トモロボ」は、建設現場の人手不足解消の一助になり、より高度な技術の業務にシフトできる社会に貢献できる技術です。今後も、新たな香川発の技術を発信するために努力精進いたします。



▲鉄筋結束ロボット「トモロボ」



▲鉄筋配置にズレがあっても安定した結束が可能

かがわ魅力発見事業

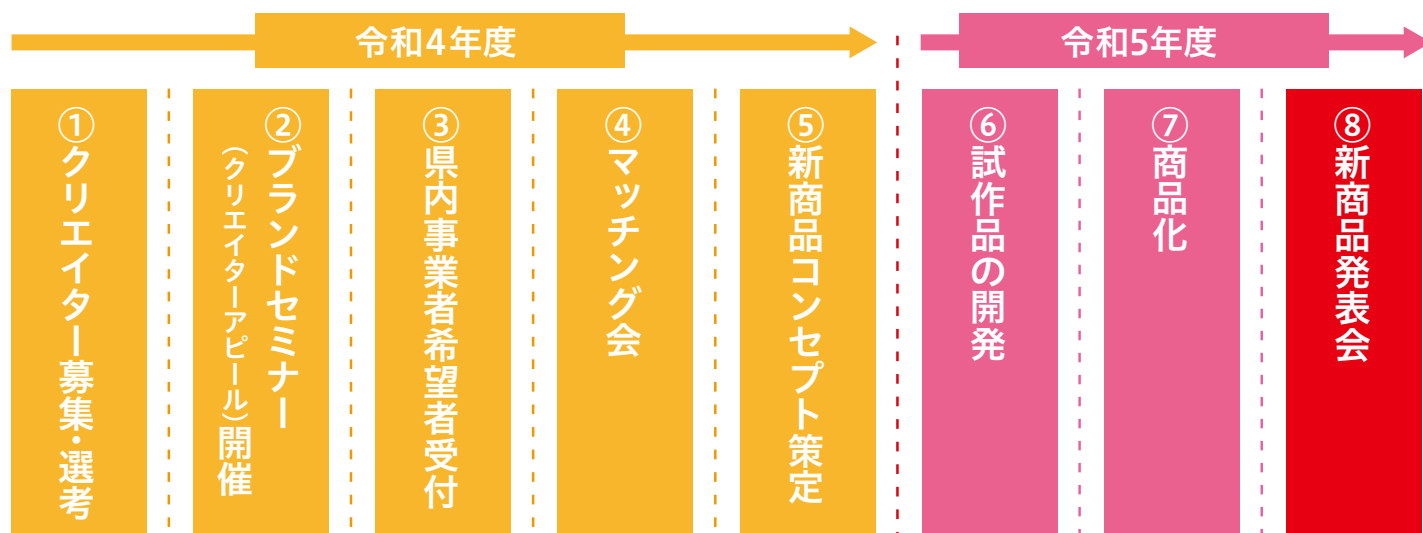
新商品開発成果報告会を開催

香川県内の芸術(クリエイター)とものづくり企業がコラボして新商品を開発

アート県の強みを生かし、芸術(クリエイター5名)と香川ならではの漆器や石材、手袋等の地域の資源を扱う県内事業者(8事業者)とをマッチングさせることで、地域の資源の魅力を更に引き出すような新商品開発を行う「芸術の街かがわ×地域の資源 新商品・ブランド開発プロジェクト」を令和4年度から令和5年度の2年にわたり実施した。

プロジェクト全体の流れ

芸術の街かがわ×地域の資源
新商品・ブランド開発プロジェクトの流れ



ミーティングの様子



新商品発表会の様子



開催日時 令和5年12月19日(火)10:00～16:00

開催場所 コトマス兵庫町(高松市兵庫町3-10)

開発した新商品の紹介 ※今後の発売に向けて準備中

吉岡 奈緒美 × 田渕石材株式会社

商品名:あかりとかおり(地域の資源:庵治石)



線香と蠟燭を少量持参できる携帯ケース(蓋は片手開閉が可能なマグネット式)を開発した。淡路島産の線香とカラフルな豆蠟燭がセットになっており、線香は付属のお香立て(庵治石)を使えば、ルームインセンスとしても楽しめる。また、使い切った時はお気に入りの線香や蠟燭に詰替えて使用できる。

WARPDESIGN × 株式会社パック三樹

商品名:ダンボールの新たな可能性を提案する「SOZO」(地域の資源:段ボール)



ダンボールを使い様々なインテリア製品を開発した。商品はポップで目を引く造形となっており、インテリアのアクセントになる。また、若い世代が買やすい比較的安価な価格設定を想定しており、自分なりのアレンジを楽しめる商品となっている。

FooDoo's × 株式会社太洋木材市場

商品名:ヒノキと樹脂の消臭ブロック(地域の資源:ヒノキ)



消臭効果とリラックス効果のある香川県産ヒノキと、人や自然に優しい樹脂を組み合わせたブロックを開発した。日常生活の中でニオイが気になる玄関や靴箱・靴の中、衣類棚などに設置して使用できる。

FURIKAKE × 四国繊維販売株式会社

商品名:COTA MUFLER(地域の資源:布団)



四国繊維販売が創業したきっかけであるこたつ布団に着目し、「首に巻くふとん」をイメージしたコタマフラー「COTAMUFLER」を開発した。ふとん屋さんが作るということで「温かい」「ふわふわ」といったイメージを消費者が連想してくれることを期待している。

FURIKAKE × 株式会社ダイコープロダクト

商品名:FOLCUS SLING(地域の資源:縫製品)



FOLKS(民衆)×FOCUS(焦点)を合わせた造語「FOLCUS」という名前を冠するカメラバッグを開発した。必要最小限の機材を効率よく持ち運ぶ為に無駄を削ぎ落とし、みんなが持って出かけたと思うデザインとなっている。

FURIKAKE × 株式会社川口屋漆器店

商品名:積器 Tsumiki(地域の資源:香川漆器)



香川県庁舎東館の建築の際に取り入れたジャパニーズモダニズムの意匠からインスパイアされた漆の器を開発した。器は、単体でも重ねても使えるお重となっており、蓋は皿としても使える3WAYの仕様となっている。

FURIKAKE × 平田商店

商品名:FishxJibier leather Glove(地域の資源:手袋)



「大切な命を完全に活かす」という思いを込めて、廃棄皮を使った手袋を開発した。香川県は海も山も近く、皮革の材料になる魚や獣も多く生息している。今まで活用されてこなかった廃棄皮を材料にすることで、独自性のある製品を生み出し、ゴミの削減につなげることを目指す。

株式会社H.Y.D. × ウインセス株式会社

商品名:gyutt-ギュット(地域の資源:手袋)



つつい握ってしまう手触りと揉み心地のストレス解消グッズを開発した。ストレスを発散したいとき、握力を鍛えたいとき、そして手の拘縮(こうしゅく)予防など介護シーンでも使うことができる商品となっている。

令和6年度 かがわ産業支援財団の重点事業

創業・新事業創出等支援

新規創業・創業後支援事業（企業支援課）

創業を目指す方を対象として、必要な知識等に関する講義、創業計画作成演習等を内容とする創業支援塾を開講する。

よろず支援拠点事業（企業支援課）

中小企業や小規模事業者への支援体制を強化するため、国からの委託により設置した「よろず支援拠点」に、チーフコーディネーター1名と複数のコーディネーターを配置し、他の支援機関とも連携しつつ、総合的・先進的経営アドバイスの提供や個別事案に最適な支援チームの編成等によるワンストップ総合支援を行う。

農業の6次産業化等促進事業（ファンド事業推進課）

農林漁業者の6次産業化等の取組みを支援するため、「かがわ農山漁村発イノベーションサポートセンター相談窓口」を設置し、専門家を派遣して経営等への助言を行うとともに、セミナーを開催する。

スタートアップ等経営相談窓口事業（企業支援課）

新事業展開等に取り組む県内中小企業等やスタートアップのために、総合相談窓口を設置し、様々な分野の専門家による経営・技術指導等を行う。また、地域の支援機関と連携を図るため、産業支援機関連絡会議を開催する。

- 窓口相談：月～金
- 産業支援機関連絡会議：5月頃開催

プロフェッショナル人材戦略拠点事業（企業支援課）

地域の中小企業の「攻めの経営」や経営改善への意欲を喚起するとともに、民間人材ビジネス事業者等と連携し、企業とプロフェッショナル人材とのマッチングを支援することで、プロフェッショナル人材の活用を促進し、企業の経営革新を促し、地域と企業の成長戦略の実現を支援する。また、副業・兼業等の多様な人材活用を促進するほか、県内企業の経営者向けのセミナー等を開催する。

助 成

新かがわ中小企業応援ファンド等事業（ファンド事業推進課ほか）

「新かがわ中小企業応援ファンド」の運用益等を財源に、中小企業者等が行う研究開発や販路開拓などの取組みを支援する。

起業等スタートアップ支援事業（企業支援課）

県内で起業等を行う者に対し、その初期投資に必要な経費の一部を補助することにより、起業等の促進を図る。

（対象事業）

- 地域課題解決型：社会的事業分野（事業承継者、第二創業者の場合は、Society5.0関連業種等の付加価値の高い産業分野に限る。）において、デジタル技術を活用し、地域の課題の解決に資する事業

商品化技術テーマ調査事業（産学官連携推進課）

県内企業等が、大学・高専・公設試等と連携して新たな商品化・事業化の可能性について調査研究する場合の経費を助成する。

デジタル化支援

中小企業デジタル化推進支援事業（企画情報課）

県内中小企業等のデジタル技術・RPA・IoT及びクラウドツールの利活用の促進を目的として、デジタル技術等の導入を希望する中小企業等に対し、導入計画の策定支援や、こうした取組みの横展開を図るための支援を行う。

販路開拓支援

広域商談会開催事業（取引支援課）

下請中小企業の広域的な取引拡大を支援するため、商談会を11月頃に愛媛県、2月頃に京都府で開催する。

大手企業との展示商談会開催事業（取引支援課）

県内企業の優れた技術・製品を大手企業に直接PRする展示商談会を開催し、新規取引の開拓及び広域的な受注機会の増大を図る。

有力な展示商談会出展事業（研究開発支援課）

県内企業の成長分野等（エネルギー・環境、ロボット、自動車関連など）への進出を支援するため、「機械要素技術展」などに「かがわ次世代ものづくり研究会ブース」を出展する。

食品商談会開催事業（企業支援課）

大都市圏等のバイヤーと県内食品産業各社（セラー）とのマッチングを行う商談会を開催する。

国内食品見本市出展事業（企業支援課）

香川県食品産業の魅力を発信するとともに、県内食品関連企業の販路開拓を支援するため、国内最大級の食品関連見本市である「スーパーマーケット・トレードショー」に、香川県ブースを出展する。

地域資源販路拡大支援事業（ファンド事業推進課ほか）

地域の資源を活用した商品のさらなる販路拡大を目指し、首都圏等で、オリーブや希少糖、地場産品など主要な地域の資源に特化した販路拡大のための機会の提供や、ブランディング等についての講座を開設するとともに、商品の試験販売等を実施する。

海外展開支援

地域企業海外販路開拓支援事業(海外展開支援室)

経済のグローバル化が進展し、地域産業においても、海外の市場に目を向け、販路開拓を推進することが求められている中で、新たな海外向けの販路開拓を中心とした各種支援を行う。

施設利用

頭脳化センター等施設提供事業(施設管理課)

頭脳化センタービル内の「インキュベータールーム」や「ITスクエア」のほか、多目的に利用できる会議室を提供する。また、県有施設「ネクスト香川」・「FROM香川」の管理運営を行う。※「ITスクエア」又は「ネクスト香川のインキュベーター工房」に新規入居する創業者等で要件を満たす場合は、利用料金を5年間減免できる。

産業高度化等施設提供事業(地域共同研究部)

RISTかがわにおいて、県内における創業、ベンチャー育成及び産業の高度化等を支援していくための企業入居施設として、施設提供を行う。

顕彰

芦原科学賞(産学官連携推進課)

高松市出身の故芦原義重氏(関西電力名誉会長)からの寄付金を基金として、県内の産業技術の高度化及び産業の振興に寄与した研究者等を顕彰する。

産業技術の高度化

新技術啓発事業(産学官連携推進課)

産学官連携で取り組んできた糖質バイオ分野、微細構造デバイス分野、健康関連産業分野の研究開発の成果やノウハウ等の県内企業での活用を目指し、産学官の関係者による情報交換や人的ネットワークの構築を支援する。また、香川県と連携し、希少糖関連プロジェクトの推進を図る。

研究開発

研究開発事業(地域共同研究部)

超臨界流体技術を活用した親油化CNF開発研究や食品成分抽出の調査研究を行うとともに、マイクロ波技術による農産物の高品質化製品の開発研究を行う。また、技術指導実験等による新商品開発等の相談・指導を行い、企業等の技術開発を支援する。

食品産業支援事業(地域共同研究部)

「かがわ機能性食品等開発研究会」及び「かがわ冷凍食品研究フォーラム」を運営するとともに、「新機能性表示食品開発相談センター」において機能性表示食品届出に関する技術指導・相談や届出支援受託業務を行う。

人材育成

高度産業人材育成事業(企画情報課)

県内企業における製造技術の高度化やIT化の進展に対応できる人材の育成を図るため、香川高等専門学校等と連携し「次世代ものづくり技術」「IT技術」に関する講習会を開催する。

中小企業後継者育成事業(ファンド事業推進課)

県内中小企業の経営者や後継者の育成を目的に、中小企業大学校が実施する各種研修や香川大学大学院地域マネジメント研究科に派遣する際に必要な経費の一部を助成する。

地域技術事業化推進事業(産学官連携推進課)

香川大学大学院地域マネジメント研究科との連携協定に基づき、同科の後期日程で県内中小企業経営者等を講師とする講座(全15回)を提供する。

知的財産の活用支援

知財総合支援窓口運営事業(知的財産支援課)

「知財総合支援窓口」を設置・運営し、県内中小企業等が抱える知的財産に関する悩みや課題をワンストップで解決できる支援を行うとともに、アイデア段階から事業展開、海外展開までの様々な経営課題に対し、関係機関と連携しつつ、知財の側面から支援を行うほか、知的財産セミナー等の開催や企業訪問などにより知的財産の重要性等の普及啓発を行う。

海外出願支援事業(知的財産支援課)

戦略的な海外への特許出願等を促進するため、県内中小企業等の海外への特許出願等に要する費用の一部を助成する。

香川県発明協会事務運営事業(知的財産支援課)

一般社団法人香川県発明協会が行う、四国地方発明表彰等の発明奨励事業や、香川の発明くふう展・小学生向け発明工作教室等の青少年の創造性開発育成事業等の業務を運営するほか、知的財産権制度の普及啓発を行う。

知的財産活性化事業(知的財産普及課)

「香川県知的所有権センター」を設置・運営し、知的財産の活用を普及する特許流通コーディネーター等が、知的財産の活用に関する情報を収集・提供するとともに、県内企業への訪問等を通じて、知的財産の活用に向けた相談・支援や普及を行う。

知的財産活用促進事業(知的財産普及課)

知的財産を活用した経営に取り組む県内企業等を対象に、かがわ知財経営塾等を開催する。大企業等の開放特許等を県内企業等に紹介するなど、知財マッチングの機会を提供するとともに、専門家を活用してオープンイノベーションによる新商品開発や新たな事業展開を支援する。

令和6年度 香川県の主な中小企業支援事業

事業名	事業内容	6年度事業内容
スタートアップ支援強化事業 予算額(千円) 63,821 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3353	県経済を牽引するような「スタートアップ」の創出を目指し、香川でスタートアップが継続的に生まれ、育っていく、起業しやすい環境の基盤形成に取り組む。	○「かがわスタートアップカンファレンス」運営事業 ●本県のスタートアップ支援施策のあり方や今後の方向性を検討 ○スタートアップスクエア事業 ●活動拠点となる起業家向けのオフィスの使用料を5年間減額 ※県が実施する「ビジネスチャレンジコンペ」上位入賞者2者は1年間無料 ○スタートアップ創出促進事業 ●県内の起業を目指す者等と、先輩起業家や東京などのスタートアップ先進地で主に活動する起業支援関係者等との相互交流の場を創出 ○スタートアップ伴走支援事業 ①スタートアップ支援策の情報一元化事業 起業しようとする者等が、自分に合った支援策を簡単に見つけられるよう、課題やニーズごとに情報を整理したWEBサイトを構築 ②スタートアップ等経営相談窓口事業 起業前から起業後のサポートまで、起業家の成長段階に応じた専門家によるきめ細かな相談対応を実施 ③「かがわ創業塾」開催事業 創業に当たっての実務ポイントを体系的かつ体系的に学習でき、具体的なビジネスプランが策定できるようかがわ創業塾を開催 ○スタートアップ成長加速化事業 ①スタートアップ成長加速化支援補助金 「ビジネスチャレンジコンペ」を開催し、優秀なビジネスプランに対し事業化に要する経費を支援するとともに、専門家によるアドバイスなどの支援を実施 ・補助率10/10 補助上限額 5,000千円 ②起業等スタートアップ支援補助金(地域課題解決型) デジタル技術を活用し、地域の課題に対して、社会性、事業性、必要性の観点をもって取り組む社会的事業者の起業等の初期段階に要する経費の一部を補助 ・補助率 1/2 補助上限額 2,000千円
新かがわ中小企業応援ファンド等事業 予算額(千円) 36,500 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3352	県内中小企業者に対して、人材育成、見本市への出展や食品商談会の開催等による国内外の販路開拓等を支援する。	○新規発掘・事業化コーディネート事業 ○国際取引支援事業 ○発注開拓支援事業 ○海外見本市出展支援事業 ○食品商談会開催事業 ○高度産業人材育成事業 ○国内食品見本市出展事業
先端技術産業集積事業 予算額(千円) 22,838 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3352	希少糖を本県産業の成長につなげるため、希少糖を用いた食品の開発支援や、希少糖商品の販路拡大の促進などを行う。	○糖質バイオ商品開発支援事業 ●糖質バイオ分野における事業化補助 ○新技術啓発事業
次世代ものづくり産業育成事業 予算額(千円) 70,054 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3348	本県の強みである、ものづくり基盤技術産業や食品産業などの振興を図るため、脱炭素化に向けた取組みを進めるほか、将来の成長が有望な分野における研究開発や新商品開発の支援、展示商談会などを活用した販路開拓・受注拡大の支援、地域産業に必要な人材の育成支援などを行う。	○脱炭素化推進高機能材料開発等支援事業 ○エネルギー関連産業育成支援事業 ○ものづくりデジタル化推進事業 ○マーケティング力強化支援事業 ○さぬきのうまい県食品競争力強化事業 ○戦略的マッチング推進事業 ○地域伝統食品産業基盤強化支援事業
超スマート社会実現化事業 予算額(千円) 35,852 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3348	AI、IoTといった先端技術をあらゆる産業に取り入れることにより、人手不足を含めた社会課題を解決できる社会システムである「Society5.0」を推進することで超スマート社会の実現を目指す。	○スマートシステム導入促進事業 ○AI等先端技術活用型研究開発支援事業 ○中小企業デジタル化推進支援事業 ○ものづくりデジタル化推進事業(再掲)
貿易・国際投資支援事業 予算額(千円) 21,828 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3352	ジェトロ香川の機能を活用して、県内企業等の海外展開の支援を行う。	○ジェトロ香川に設置した「香川県海外ビジネス展開促進センター」において、海外展開に関心のある県内企業等に対して企業訪問し、ニーズに合わせた情報提供、アドバイス、支援事業等の紹介 ○海外展開の実現に向けたきめ細かな支援 ○「海外ビジネス人材育成講座」の開催 など
アジアビジネス展開支援事業 予算額(千円) 7,832 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3352	東南アジア等への販路拡大のため現地企業等とのマッチング機会を提供する。	○タイ・オンライン商談会開催 ○ベトナム・オンライン商談会開催
直行便就航国・地域ビジネス展開支援事業 予算額(千円) 7,033 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3352	高松空港の国際線就航地域との経済交流をより一層促進するため、県内企業の直行便就航国・地域へのビジネス展開を支援する。	○台湾販路開拓支援事業 ●台湾政府機関及び経済団体との共催による香川県台湾商談会の開催 ○上海ビジネス展開支援事業 ●上海地域における県内企業の現地視察や販路開拓等に対する支援
知的財産推進事業 予算額(千円) 16,354 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3352	県内企業に対する知的財産の普及啓発を図るとともに、県内企業による知的財産の創造・保護・活用を促進する。	○知的財産活性化事業 ●香川県知的所有権センターの設置 ●「かがわ知財経営塾」「知財マッチングinかがわ」の開催 ○知的財産推進事業 ●外国における商標等の知的財産に関する諸問題に対応

事業名	事業内容	6年度事業内容
企業誘致助成制度 予算額(千円) 2,228,777 担当課 企業立地推進課 電話番号 087-832-3354	県内に工場、試験研究施設、情報処理関連施設、物流拠点施設、地方拠点強化施設等を設置する企業又は産業用地の整備を行う企業に対して助成金を交付することにより、企業立地を促進する。	○助成対象:工場や試験研究施設等の区分に応じて定める投下固定資産額、新規雇用等の要件を満たすもの ○助成額:投下固定資産額等を基礎に算出した額(対象施設の区分により助成率が異なる) ※工場の場合 ●助成率 投下固定資産額の10% 投下固定資産額が10億円を超える部分については助成率を5ポイント引き下げ ●10人を超える新規常用雇用に対する助成あり ●助成限度額 5億円
地域未来投資促進法 支援制度 予算額(千円) ー 担当課 企業立地推進課 電話番号 087-832-3354	地域の特性を生かして高い付加価値を創出し、地域の事業者に対する経済的波及効果を及ぼすことにより地域経済を牽引する事業(地域経済牽引事業)を支援する。	○要件 ①着手前に県に地域経済牽引事業計画を申請し、承認を受けること。 ②資産取得前に国に先進性の確認申請を行い、先進性の確認を受けること。 ○優遇措置 不動産取得税の免除(土地は対象施設の水平投影面積に限る) ※その他、国税の優遇措置あり
事業承継支援事業 予算額(千円) 2,381 担当課 経営支援課 電話番号 087-832-3345	専門事業者を活用した事業承継計画の策定等への補助や事業承継税制の認定を通じて、円滑な事業承継を支援する。	○事業承継支援事業費補助金 ●支援機関の支援を受けたうえで、専門事業者に対して委託する経費の一部を補助 ●補助対象者:県内で事業を営む中小企業者等のうち県内に本社を置く法人又は県内に住所を有する個人事業主 ①事業承継計画の策定等 補助率 1/2(上限30万円) ②M&Aの仲介委託、デューデリジェンスにかかる経費等 補助率 1/3(上限30万円) ○事業承継税制の認定 ●事業承継の際の相続税・贈与税の納税猶予を受けるための認定
中小企業BCP策定 運用促進事業 予算額(千円) 6,305 担当課 経営支援課 電話番号 087-832-3345	県内中小企業が災害等による事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続や早期復旧ができるようBCP(事業継続計画)策定を促進する。	○中小企業BCP策定セミナー ●中小企業を対象にした、BCP策定セミナーの開催 ○中小企業BCP個別相談会 ●各中小企業が抱える個々の課題についての具体的解決に向けて、個別相談会を開催 ○中小企業BCP策定等支援補助 ●専門家の指導等によりBCPの策定・見直しを行った際の経費の一部を補助(補助率1/2(SDGs登録事業者は2/3)、補助上限50万円、全業種を対象) ○香川県中小企業BCP優良取組事業所認定 ●BCPを策定し、事業継続に取り組む中小企業のうち、優れた取組を行っている企業を認定
県内中小企業設備投資 資金利子補給補助事業 予算額(千円) 93,100 担当課 経営支援課 電話番号 087-832-3345	製造業を営む中小企業者の経営基盤の強化や新分野進出などの積極的な事業展開を促進するため、県内中小企業者が行う設備投資のための事業資金の借入金に対する利子補給補助を行う。	○補助対象者 ●県内に本社又は事業所を有する中小企業者(製造業)で、設備投資のために1,000万円以上の資金借入を行ったもの(BCP(事業継続計画)の策定が必要) ○補助対象となる設備投資 ●県内における製造業のための工場又は試験研究施設の新築若しくは増改築又は取得並びに機械及び装置の取得 ○補助率 ●資金借入に伴う利子のうち年利1%以下で算定期間内に支払われた額の3/4 ○補助期間 ●最初の利子が支払われた日から起算して7年以内 ○補助金額の上限 ●100万円/年(香川県中小企業BCP優良取組認定事業所・SDGs登録事業者は200万円/年)
中小企業振興融資 予算額(千円) 38,315,000 担当課 経営支援課 電話番号 087-832-3347	県信用保証協会の保証制度を活用し、取扱金融機関と協調して融資を行い、県内中小企業等の事業資金調達の円滑化を図る。	○新規創業支援 ○経営安定支援 ○商店街支援 ○事業承継支援 ○経営革新支援 ○企業立地支援 ○BCP策定企業支援 ○子育て支援 詳しくは「香川県商工労働部経営支援課ホームページ」参照 https://www.pref.kagawa.lg.jp/keiei/kinyu/youushi/youushi.html
かがわで就活! 応援事業補助金 予算額(千円) 1,200 担当課 就職・移住支援センター(ワークサポートかがわ) 電話番号 087-802-4700	ワークサポートかがわでは、県内企業の人材確保拠点として求人・求職のマッチング支援と県内企業の情報発信に取り組んでいる。県外からの就職を支援するため、県外在住の学生が、香川県内で合同就職面接会、合同企業説明会、企業見学会、インターンシップ・就業体験に参加するときの交通費を助成する。	○補助対象者(必須) ①「ワクサボかがわ」に本登録 ②県外に居住地があり、県外の大学等に在籍する学生(いずれかの参加) (1)香川県が主催または共催、若しくは県内市町が主催する合同就職面接会、合同企業説明会、企業見学会に参加 (2)「ワクサボかがわ」で募集する県内企業のインターンシップ・就業体験エントリー後参加 ○補助対象経費 県外居住地から県内目的地までの間を経済的かつ合理的な経路で往復移動するときに要する交通費 ○補助限度額 20,000円(100円未満切捨て) 詳しくは「ワクサボかがわ」のホームページ「おしらせ」を参照 https://www.wskagawa.jp/
誰もが働きやすい 職場環境づくり助成金 予算額(千円) 3,000 担当課 労働政策課 電話番号 087-832-3370	「かがわ働き方改革推進宣言」を行い、働き方改革に取り組む県内に事業所を有する中小企業等に対し、職場環境の整備等に要する経費の一部を助成する。	○補助対象者 県内に本店、支店、営業所等を有する中小企業等 ○補助対象経費 ①男性育児休業取得推進コース 男性育児休業取得推進に向けた社内研修の実施や社会保険労務士への相談に要する経費 ②多様な働き方推進コース 就労環境改善のための設備・システム導入、就業規則の整備等に要する経費 ○補助率等 補助率1/2(SDGs登録事業者は補助率2/3) 補助上限額①100千円 ②240千円
外国人材雇用促進事業 予算額(千円) 18,994 担当課 労働政策課 電話番号 087-832-3400	県内事業所や外国人材からの雇用等に関する相談を総合的に受け付ける窓口の運営や、外国人材の受入れ・定着・活躍を促進するための補助等を行う。	○外国人労働人材関係相談窓口の運営 ○留学生等と企業との交流会・合同企業説明会の開催 ○ワークサポートかがわに専任のコーディネーターを配置するほか、海外大学と連携しながら、県内事業者と高度外国人材等とのマッチングを支援する。 ○外国人材の適正な受入れなどを内容とするセミナーの開催 ○外国人材日本語能力向上支援 ●県内企業等が外国人材の日本語能力向上のために行う事業の経費を補助率1/2、補助上限額20万円で補助

新かがわ中小企業応援ファンド等事業 令和6年度の助成対象事業決定

「新かがわ中小企業応援ファンド」等を活用して、県内の中小企業者が行う研究開発や販路開拓に対する支援を行っています。令和6年度の助成事業について、令和5年12月8日から令和6年2月15日まで募集を行ったところ93件の申請があり、審査の結果、助成対象事業を次のとおり41件決定しました。

(1)新分野等チャレンジ支援事業

採択4件(申請13件) 採択額7,060千円(事業者名による五十音順)

事業名	事業者名(所在地)	採択額(千円)
1 国産麦芽の多品種少量生産に関する可能性評価	株式会社高畑精麦(善通寺市)	2,000
2 発酵無、グルテンフリーの腸活 丸パンミックス	中野産業株式会社(高松市)	2,000
3 災害避難所用段ボール製品の開発	株式会社FUJIDAN(東かがわ市)	1,916
4 ハンディキャップを持つ人の生活を豊かにする商品開発と普及	株式会社レガン(木田郡三木町)	1,144

(2)競争力強化研究開発支援事業

①一般枠

採択6件(申請19件) 採択額17,987千円(事業者名による五十音順)

事業名	事業者名(所在地)	採択額(千円)
1 プリズムを利用したイメージセンサのスペックを超えるカメラ開発	株式会社シーマイクロ(高松市)	3,000
2 ドライ方式による有用資源回収装置の商品化	四国アセチレン工業株式会社(丸亀市)	3,000
3 破棄されている規格外フルーツを人気上昇中の発酵飲料へアップサイクル	株式会社Japan Fruits(坂出市)	3,000
4 サステナブルな超微細ハニカムセラミックス部材の開発	株式会社長峰製作所(仲多度郡まんのう町)	2,987
5 複合構成の電磁波吸収シートの開発	株式会社フジコー(丸亀市)	3,000
6 AIを活用した口バスト性の高い自律制御ロボットの研究開発	株式会社未来機械(高松市)	3,000

②農商工枠

採択3件(申請7件) 採択額5,809千円(事業者名による五十音順)

事業名	事業者名(所在地)	採択額(千円)
1 オリーブ葉の効率的な収穫と微粉末化による多様な食品への販路開拓	株式会社オキオリーブ(高松市)	3,000
2 伊吹島産サツマイモ「イブキホワイト」®を使用した新たなスイーツ「カタラーナ」等の開発と販路拡大	Zion高松合同会社(高松市)	833
3 香川県産「いりこ」を活用した美味しく多様な「いりこご飯」具材の開発	株式会社ニッショー(丸亀市)	1,976

(3)成長促進研究開発支援事業

採択3件(申請8件) 採択額11,832千円(事業者名による五十音順)

事業名	事業者名(所在地)	採択額(千円)
1 糖化・発酵技術を用いたバイオエタノール等の製造システムにおける研究開発	株式会社富士クリーン(綾歌郡綾川町)	3,333
2 香川県産広葉樹を機材とする高級木箸の製造に向けた、県産広葉樹の木取・乾燥・加工方法の研究開発とサプライチェーン構築および販路開拓	株式会社Bo Project.(高松市)	3,499
3 パーティクル削減用の高圧液フィルターの技術開発	株式会社レクザム(高松市)	5,000

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 ファンド事業推進課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-868-9903 FAX.087-869-3710

(4)国内見本市出展・オンライン販路開拓支援事業

採択20件(申請35件) 採択額5,850千円
(事業者名による五十音順)

事業名	事業者名(所在地)	採択額(千円)
1 「第98回 東京インターナショナル・ギフト・ショー秋 2024 LIFE×DESIGN」出展	アーバン工芸株式会社(東かがわ市)	300
2 グローバル商品による販路開拓のための展示会出展	株式会社エフディアイ(三豊市)	300
3 「さぬきオリーブ酵母清酒」の認知度向上並びに需要促進のための展示会出展	香川県酒造協同組合(高松市)	300
4 PELLE:k(ペレック):新規開拓向け展示会出展	株式会社クロダ(東かがわ市)	300
5 コロナ後の変化・進化する小売店への青果物の販路開拓及びリサーチのための「フードストアソリューションズフェア 2024」出展	株式会社讃岐富士農産(丸亀市)	300
6 「製造業向け DX 化支援ソリューション Web パーツシステム」の販路拡大のための展示会出展	株式会社ジョーソンドキュメント(高松市)	300
7 保育博2024 出展	株式会社セントレディス(丸亀市)	300
8 「あらん」でハルメク	有限会社高島産業(高松市)	300
9 「第11回CareTEX東京」ケアフード展出展	宝食品株式会社(小豆郡小豆島町)	300
10 「第98回 東京インターナショナルギフト・ショー秋 2024」出展	有限会社筒井製菓(高松市)	300
11 初生雛雌雄鑑別 AIシステムの国内展示会出展	有限会社電マーク(高松市)	300
12 第51回国際福祉機器展 H.C.R2024 出展	徳武産業株式会社(さぬき市)	300
13 次世代こんにやく加工食品「マンナンミール」の販路開拓のための展示会出展	ハイスキー食品工業株式会社(木田郡三木町)	300
14 「人とするまのテクノロジー展2024 YOKOHAMA」出展 試験片抜き刃~新たな業界への挑戦~	株式会社ハガタ屋(東かがわ市)	300
15 新規開発化粧品・医薬部外品原料の知名度向上と販売促進を目指した展示会出展	株式会社伏見製薬所(丸亀市)	300
16 「食の魅力」発見商談会 2024 出展	丸金食品株式会社(小豆郡小豆島町)	150
17 「讃岐もち麦ダイシモチ及び加工品」販路開拓のための展示会出展	株式会社まんでがん(善通寺市)	300
18 新商品[Brown rice cup]の販路開拓のための自社ECサイトおよびそれと連携する日/英語対応のHPの製作	株式会社もみまる(善通寺市)	300
19 ビデオ通話を使った「介護用コミュニケーションサービスシステム」の展示会出展用動画・パンフレット制作	山田電建株式会社(高松市)	300
20 ウェルネスフードジャパン2024 出展による健康食品市場への販路開拓	吉原食糧株式会社(坂出市)	300

(5)海外見本市出展支援事業

採択5件(申請11件) 採択額4,000千円(事業者名による五十音順)

事業名	事業者名(所在地)	採択額(千円)
1 国産小麦を原料とした乾麺の海外販路拡大のための高級食品見本市「Winter Fancy Food Show 2025」出展	石丸製麺株式会社(高松市)	800
2 ドイツ VISION 展出展	株式会社シーマイクロ(高松市)	800
3 「FOOD TAIPEI 第34回台北国際食品見本市」へ出展	宝食品株式会社(小豆郡小豆島町)	800
4 アメリカ市場における、日本米グルテンフリー菓子の販路開拓のための「2025 Winter Fancy Food Show」出展	株式会社禾(さぬき市)	800
5 建設業界向け墨出しロボットの海外販路開拓(欧州市場)のための「INTERGEO2024」出展	株式会社未来機械(高松市)	800

支援事例紹介

機能性表示食品届出支援事例の紹介

当財団が設置している「新機能性表示食品開発相談センター」が消費者庁への機能性表示食品の届出を支援し、下記の内容で届出が完了し機能性表示食品として製造販売されている4商品を紹介します。

これまでに、機能性表示食品としては全国で約8,000件の商品が受理されていますが、県内企業の届出商品は今回の商品を含めて51件となりました。うち33件は当財団が支援しました。

商品名	GABA配合塩ゆで黒豆	もえどら	国産小麦まるごと細うどん	八朔マーマレード
事業者名	丸金食品株式会社	株式会社夢菓房たから	石丸製麺株式会社	株式会社井上オリーブ柑橘研究所
届出日	令和5年7月28日	令和5年8月3日	令和5年8月30日	令和5年9月21日
機能性関与成分	GABA(ギャバ)	アルロース(希少糖)	小麦由来アラビノキシラン	アルロース(希少糖)
機能性内容	◎高めの血圧を下げる ◎ストレス(疲労感)軽減	◎脂肪の燃焼を高める ◎食後の血糖値上昇抑制	◎腸内環境改善 ◎食後の血糖値上昇抑制	◎脂肪の燃焼を高める ◎食後の血糖値上昇抑制
1日摂取目安量	1袋(50g)/GABA28mg含	1袋(60g)/アルロース5g含	100g/アラビノキシラン2.7g含	30g/アルロース5g含
販売開始	令和5年11月6日	令和6年2月17日	令和6年1月22日	令和6年2月29日
商品パッケージ				

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 地域共同研究部 研究開発課
高松市林町2217-43 RISTかがわ1F TEL.087-869-3440 FAX.087-869-3441

令和5年度 かがわ産業振興クラブセミナーを開催

かがわ産業振興クラブでは、令和6年1月29日(月)に、リーガホテルゼスト高松 翡翠の間において、令和5年度かがわ産業振興クラブセミナーを開催しました。Zoomによる同時配信も行い、総勢110名の方に聴講いただきました。

第1部では、株式会社リージェント 代表取締役会長の加地盛泰氏から、「人材難時代に対応する採用のパラダイム転換～採用の勝ち組企業に共通する『採用の新・方程式』～」と題して講演をいただきました。

企業は採用する時代から選ばれる時代になっており、本質的な企業の魅力アップが求められている。条件だけでは人は動かなくなっており、ビジョン共感型採用への転換が必要である。採用の新方程式とは、ビジョン(自社の将来を語れる)と本気度(採用のために手段を選ばない覚悟)と経営資源(人に投資、組織風土、経営者の人間力)の掛け算であるなどのお話いただきました。

講演の後、加地氏とIMソリューションズ株式会社 代表取締役の岡本陽氏とHRライズ合同会社 代表社員の湯浅修司氏の3名でトークセッションを行いました。岡本氏、湯浅氏とも企業での人材の採用、育成等で優れた実績を残されており、その御経験を踏まえてお話いただきました。岡本氏からは相手と価値観を共有して面接を進めること、採用だけでなく定着も意識すべきであるなどの御意見が、湯浅氏からは面接者が話しやすくするために相手に安心感を持ってもらうこと、人事担当者の課題感を経営者と共有すべきことなどの御意見が、共通の御意見として、自社の働く場を見てもらい、働くことの動機付けを持って面接に臨んでもらうことが効果的な採用面接となることなどをいただきました。

第2部の会員企業事例報告では、石丸製麺株式会社 専務取締役の石丸祥子氏から、同社の生き残り戦略は、「商品力」と「よき人財」を育てることであり、第1部講演で挙げられた、本質的な企業の魅力アップに必要とされる企業力(商品価値の向上)と労働条件(環境・教育・コミュニケーションの改善)について、現在まで実践されている内容をお話いただきました。

続いて、株式会社メディアミックス研究所 代表取締役の山西和昌氏から、地方こそがデジタル・クリエイティブな人材を必要としているという観点に基づき、新規事業として取り組んだ教育事業を紹介され、人材サービス及びウェブ制作事業との連携により生じた選択肢の拡大など、企業と人材の両者にとっての成果についてお話いただきました。

最後に、ワークサポートかがわ 所長の塩田京子氏から、同所の業務内容等を説明いただきました。

主 催 (公財)かがわ産業支援財団 **共 催** 香川県よろず支援拠点

かがわ産業振興クラブでは、会員を募集しています。

詳細は、当財団ホームページ<https://www.kagawa-isf.jp/club/>をご覧ください。

実施事業:財団機関誌、メールマガジン等の送付、セミナー・県外企業見学会・知事との意見交換会の開催、年会費: 5,000円



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 取引支援課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-868-9904 FAX.087-869-3710

ビジネスに役立つ知財塾【初心者編】&個別相談会を開催

中小企業が抱える経営課題について、自社のアイデア、技術、ブランド、デザイン等の「知的財産」の側面から解決を図るINPIT香川県知財総合支援窓口が、香川県の新たなオープンイノベーション拠点として整備された「Setouchi-i-Base」と連携して、フリーランスやスタートアップ等の皆様を対象に、セミナーを開催しました。

Webデザインやロゴマーク、HP等の企画及び制作にも役立ち、普段の仕事上守っておきたい、また、戦略として押さえておきたい知的財産のポイントについて、身近な実例を交えながら分かりやすく説明しました。

開催日時 第1回 令和6年2月9日(金)14:00～15:00[セミナー] 15:00～[個別相談会]
第2回 令和6年3月1日(金)14:00～15:00[セミナー] 15:00～[個別相談会]

講 師 INPIT香川県知財総合支援窓口 相談担当者

受講者 第1回 8名 第2回 6名

開催場所 Setouchi-i-Base(高松市サンポート2-1 高松市シンボルタワー4・5階 情報通信交流館(e-とびあかがわ)内)

内 容 知財全般(特許、意匠、商標、契約、著作権ほか)に渡り、ビジネスに必要な基本的なポイントについて、初心者にも理解できるよう分かりやすく解説

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 知的財産支援部 知的財産支援課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-867-9332 FAX.087-867-9365

知的財産研究会セミナーを開催

一般社団法人香川県発明協会は知的財産研究会セミナーを開催しました。セミナーでは、チャットGPTを始め、AI技術の現状と今後の動向について、最新の情報を踏まえ幅広く説明し、知的財産分野における活用と課題について、分かりやすく実例を交えながら解説しました。

開催日時 令和6年3月4日(月)14:00～16:00

講 師 河野特許事務所 所長 弁理士 河野 英仁 氏

開催場所 香川産業頭脳化センタービル2F一般研修室

受講者 25名

テーマ AIと知的財産 ～現状と今後の動向、その活用と課題について～

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 INPIT香川県知財総合支援窓口
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-802-3650

令和6年度 起業等スタートアップ支援補助金(地域課題解決型)の受付開始

県内で起業等を行う者に対し、その起業等に必要な経費の一部を補助します。

	地域課題解決型				
補助対象事業	地域に蓄積された強みなどの地域資源を生かして、地域活性化関連、子育て支援、健康関連、買物弱者支援、まちづくりの推進などの社会的事業分野で、デジタル技術を活用し、地域の課題の解決に資する事業				
補助金額・補助率	200万円以内(1/2以内)	対 象 者	県内における起業者等	対 象 経 費	人件費、事業費、委託費
募 集 期 間	令和6年4月10日(水)～令和6年5月24日(金)17時(必着)				

詳細はこちらをご覧ください。▶ <https://www.kagawa-isf.jp/support/fund/startup/>

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 企業支援課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-840-0391 FAX.087-869-3710

地域資源活用輸出商品開発支援事業の募集

県内中小企業者が創意工夫して行う地域の資源を活用した海外市場向け輸出商品の開発及び海外販路拡大のための実効性のある新たな取組みを支援するため、助成金を交付します。

1. 助成対象事業

地域の資源を活用した自社の海外市場向け輸出商品の開発(既存商品の改良を含む。)及びこれに伴う海外販路開拓

※地域の資源とは、地域産業資源(香川県の特産物として認識されている農林水産物若しくは鉱工業品又は当該鉱工業品の生産に係る技術)又は香川県伝統的工芸品として指定されているものをいいます。

2. 助成率・助成額

助成率: 2/3以内

助成額: 50万円以上200万円以下

3. 採択予定件数

5件程度

4. 応募方法

応募に当たっては、所定の申請書と必要となる添付書類を作成のうえ、電子申請又は郵送若しくは持参により申請してください。申請書の様式等は財団のホームページからダウンロードが可能です。

5. 募集期間

令和6年4月15日(月)～令和6年5月15日(水)17時(必着)

※締切直前は、応募が集中することが予想されますので、早めの申請をお願いします。

6. 助成の対象となる事業の決定

書類審査及びヒアリング等の後、専門家等で構成する審査委員会での審査を経て決定します。申請者は審査委員会でプレゼンテーションを行っていただきます。

※この事業は、中小企業地域資源活用等促進事業助成金を活用して実施しています。

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 ファンド事業推進課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-868-9903 FAX.087-869-3710

令和6年度 若手社員ステップアップ研修 受講生募集

県内企業の人材育成を支援するため、若手社員向けの研修を実施します。若手社員のうちに身に付けておくべき、日常の業務で頻繁に活用するスキルを学ぶことを目的として開催しますので、多数の御参加をお待ちしております。

※令和6年度はこれまでの「若手社員研修」の研修内容を一新して開催いたします。

日時 令和6年7月1日(月) 9:30～17:00 ※昼休憩1時間程度を含む

場所 香川産業頭脳化センタービル2F 一般研修室(高松市林町2217-15)

対象者 概ね20歳代の若手社員

申込方法 申込フォームからお申し込みください。
<https://kagawa-isf.form.kintoneapp.com/public/r6yoyakuwakatef>



定員 24名(申込先着順)

受講料 7,700円(税込)／名

講師 株式会社ビックバン 代表取締役 山下 益明 氏

申込締切 令和6年6月17日(月)(定員になり次第締め切ります。)
なお、キャンセルは令和6年6月24日(月)17:15まで承ります。
以降のキャンセルは原則として返金いたしません。

カリキュラム(予定)

I. ロジカルシンキング

- ◎ロジカルスキルとは
- ◎結論から話すPREP(ブレップ)法
- ◎ピラミッドストラクチャーで論理構造を整理する

II. 課題解決力

- ◎問題意識をもつことで課題発見ができる
- ◎すっきりとわかりやすく課題形成を行う
- ◎課題解決のために必要なこと

III. コミュニケーション能力

- ◎コミュニケーションとは
- ◎人間関係を良くするために必要なこと
- ◎メラビアン法の法則

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 企画情報課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-868-9901 FAX.087-869-3710



かがわ発! 元気創出企業

香川県内の元気な企業を訪問し、その企業が発展してきた過程と躍進を続ける今、そして未来への指針についてお聞きする「かがわ発! 元気創出企業」。

今回は、三豊市にある「白川農場株式会社」を訪ねました。



にんにく畑の様子。自家製堆肥を用いて合計で5ヘクタールの農地で栽培

香川県産にんにくの知名度アップを目指し 使いやすく買いたくなる「にんにく商品」を展開



周囲を小高い山々に囲まれた高瀬町麻地区は、朝夕の寒暖差を活かして昔から農業の盛んな集落。曾祖父の代から農業をはじめ、祖父の代までは柑橘類やたけのこ農家だったものの、父の代には自分たちで食べる分だけをつくるようになったという。その農業に再度、生業として取り組んだのが白川農場株式会社(旧・株式会社三豊エコファーム)。2006年(平成18年)からにんにく栽培に取り組み、さまざまな6次産業化商品を生み出している。栽培から加工、販売まで一貫して展開をする同社の取り組みについて白川大輔社長にお話を伺った。



香川県のにんにくは暖地系の品種。青森県をはじめ寒い地域で栽培される寒地系のものよりも、味わいが濃く香りが高いのが特徴

6次産業化商品開発に 手探りでチャレンジ

白川さんが、遊休農地を活用して野菜栽培などを行っていた株式会社三豊エコファーム(白川農場の旧社名)の代表として事業を担ったのは24歳の頃。当時はブロッコリーや玉ねぎの栽培が中心だったそうだが、農業に専業で取り組むのであれば、さらに特色のある野菜づくりをする必要がある。そこで注目したのが、青森県に次いで全国第2位の生産量を誇るにんにくだった。「JAや普及センターの指導のもとで栽培を始めたんですが、農業の経験もなく、技術力も足りないので、なかなか綺麗な形のにんにくができなかったんです」と白川さん。そこで加工用として県外で黒にんにくを製造する会社へとJAを通じて出荷していた。

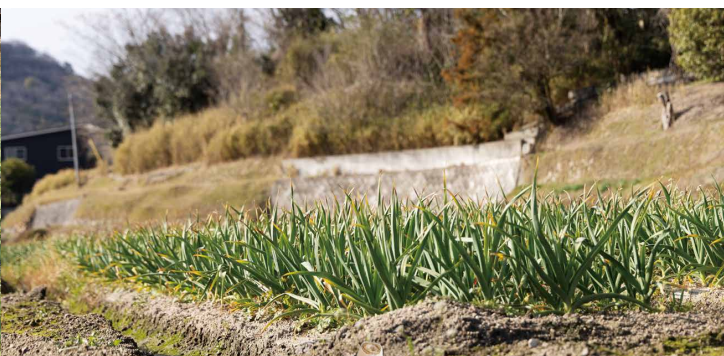
6次産業化のきっかけが訪れたのは、取引が始まり2年ほど経った頃。出荷先であり、黒にんにく発祥の地といわれる三重県の会社を視察した白川さんに「産地で黒にんにくの製造に取り組まれたらどうですか?と専務さんがノウハウを教えてくださいました」という。香川県に戻ってすぐに事業計画をつくり、設備の補助金を申請し、にんにくを熟成する機械を導入。「資金的にも全く余裕がなかったので補助金を使わせてもらいながら、加工をしてみて、とりあえずできたから次は販売!という感じで、手探りでスタートしたんです」。



白川農場株式会社

代表者 白川 大輔氏
所在地 三豊市高瀬町上麻3681
【5/7からの所在地】三豊市高瀬町上麻3894
電話番号 0120-372-229
<https://www.shirakawa-garlic.com/>

代表取締役
白川 大輔 氏



調味料として手軽にサツと使えるものや食卓のアクセントになるものなど、バリエーションの広さも白川農場の商品の特徴

女性スタッフの感性で 「売れる」パッケージに

当時、白川さんは20代。農業に飛び込んだばかりで、まだできあがった商品もなければ、決まった販売ルートもなかった。「今思えば、そういう状況だったからこそチャレンジできたのかもしれないですね」と白川さんは当時を振り返る。

栽培から加工、販売まで一環で行うことを決め、試行錯誤の末にできあがった商品には「マーケティングも何もなく、ただただデザイナーさんと僕が盛り上がり、とにかく目立とうと(笑)」《さぬきのバカヂカラ》と名付けた。だが、黒にんにく自体に知名度がなかったこともあり、全く売れない時期が続く。「最初の頃は、製造ノウハウも少なく、よく失敗しました。売り物にならず廃棄したことも」。その後、少しずつ黒にんにくの知名度とともに品質も向上しリピーターも増えた。

黒にんにくをさらに広めていくには、インパクトだけでは通用しないと、数年前からは誰もが手に取りやすく、ギフトとしても使いたくなるパッケージへ変更。欲しい人に届くキャッチコピーも付加した。「パッケージに関しては意見を言わず、うちの妻と女性スタッフにお任せすることにしました」。開発についても白川さんが次々出すアイデアを女性陣がジャッジ。「没商品もいっぱいあるんですよ」と苦笑いする。



一玉ずつ40日間じっくり熟成させた「甘熟黒にんにく」。無加水でニンニクの水分のみを使うため甘みがギュッと凝縮される(現在は品切れ中・オンラインショップでは8月より再販予定)



「地域資源ブランド化・販路拡大支援事業」の助成金を活用し開発した「乾燥にんにくチップ」を今年3月から販売スタートした。乾燥のままではトッピングなどに使えるほか、水で戻すだけで生のにんにくの代わりにも

香川県産にんにくを さらにPRするために

一貫して栽培から加工、販売まで行うにはエネルギーが必要な上、さまざまなコストもかかるが、「香川県がにんにくの産地だということも広めるためにもヒット商品をつくりたい」という白川さん。にんにく産地としての香川県の知名度を上げたいというの、さまざまな商品を開発し続ける理由だという。直近の新製品「乾燥チップ」は、常温で長期保存でき、乾燥のままパウダー状にしたリクラッシュしたりして使うだけでなく、水で戻して生のにんにくの代わりにも使える手軽さがウリ。「丸ごと買っても使い切らないとかニオイが気になるとか、そういう声に応えて、できるだけ使いやすくすることで香川県産にんにくの存在を知ってもらえれば」と力を込める。

現在は、黒にんにくを愛用してくださっているお客様の平均年齢は60代以上。40代、50代にんにく商品提案していくことも、これからの課題だ。「直接販売することで、お客様の声が聞けるので商品の改良にも早く取り組みますし、今後は直販でもっと広めていきたいですね」。ゴールデンウィーク前には直売所と加工場を移転。より立ち寄りやすくなる。いずれは飲食スペースも設けたいという白川さん。香川県産にんにくを広めるアイコンとして今後の展開が楽しみだ。

第58回スーパーマーケット・トレードショー2024に香川県ブースを出展

香川県の主要産業の一つである食品産業の魅力を発信するとともに、関連する企業の販路開拓を支援するため、国内最大級の食品関連見本市「第58回スーパーマーケット・トレードショー2024」に、香川県ブースを出展しました。

1 第58回スーパーマーケット・トレードショー2024の概要

会期	令和6年2月14日(水)～16日(金)10時～17時 ※最終日は16:00まで	会場	幕張メッセ(全館)	来場者数	75,858名
主催	一般社団法人 全国スーパーマーケット協会				
特色	◎スーパーマーケット、百貨店、飲食店、卸、食品メーカー等のバイヤーが多数来場 ◎小売企業の決定権を持つ経営者やバイヤーを積極的に招待 ◎県内企業が「香川県ブース」として共同出展することにより、地域産品を求めるバイヤーに効果的にPRできるとともに、出展費用を抑制				



2 香川県ブースについて(平成22年度より実施)

出展規模	16小間(12.0m×12.0m)	出展場所	10ホール 10-203
出展者	32者		

(株)アンファーム、石丸製麺(株)、(株)いちから、(株)エフディアイ、(株)おがた食研、岡田食品工業(株)、鎌田醤油(株)、(株)共栄食糧、共栄冷凍水産(株)、銀二郎麺業(株)、(有)さぬき鳥本舗、(株)讃岐物産、(株)サンコウフーズ、小豆島オリーブ(株)、千金丹ケアーズ(株)、(有)高島産業、宝食品(株)、タケサン(株)、タケサンフーズ(株)、(株)地方創生、(有)筒井製菓、中野産業(株)、(株)中野製菓、仁尾興産(株)、(株)藤井製麺、(有)藤川果樹園、(株)ボスコフードサービス、丸金食品(株)、丸島醤油(株)、(株)まんでがん、安田食品工業(株)、(株)山清

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 企業支援課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-840-0391 FAX.087-869-3710

香川県 新技術・新工法展示商談会 in 神戸製鋼所を開催

令和6年3月1日(金)、株式会社神戸製鋼所の御協力をいただき、県内企業18社及び香川県産業技術センターが、神戸製鋼所の神戸総合技術研究所(兵庫県神戸市)において、自社の新技術・新工法を展示する商談会を開催しました。

この展示商談会は、神戸製鋼所および関連企業の生産部門等の担当者を主対象として、県内企業の優れた技術や製品を展示し、直接提案することにより新たな販路拡大を目指すものです。出展企業の実業は、素材・材料、システム・ソフトウェア、設備装置等と多岐にわたりました。

会期中は、神戸製鋼所及び関連企業を含めた238名が来場され、各ブースで出展企業との活発な商談が行われました。出展企業にとっては、神戸製鋼所をはじめとした多くの関係者に自社の技術等を直接提案するとともに、大手企業のニーズを把握できる絶好の機会となりました。

財団では、今回の出展企業等に対しフォローアップを行い、具体的な取引につながるようサポートするなど、県内企業の販路拡大を積極的に支援します。



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 取引支援課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-868-9904 FAX.087-869-3710

令和5年度 関西・四国合同広域商談会を開催

令和6年2月上旬から中旬にかけて、WEB会議システムを利用したオンライン商談及びリアル(直接面談)商談を併用したハイブリッド方式で「令和5年度 関西・四国合同広域商談会」を開催。県内受注企業5社が参加しました。

開催日時	令和6年2月1～2日、5～8日(オンライン方式) 令和6年2月15、16日(対面式)		
開催場所	京都パルスプラザ2階 大展示場(京都府京都市)	参加発注企業	オンライン商談 30社、リアル商談 116社 計146社
参加機関	関西6府県、四国4県、鳥取県の支援機関及び(公財)全国中小企業振興機関協会	参加受注企業	オンライン商談 25社、リアル商談 335社、両方78社 計438社(うち香川県5社(オンライン1社、リアル2社、両方2社))
対象業種	機械・金属加工、樹脂加工等	面談件数	香川県14件

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 取引支援課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-868-9904 FAX.087-869-3710

総務部

〒761-0301 香川県高松市林町2217-15
香川産業頭脳化センタービル1F・2F
総務課
TEL.(087)840-0348 FAX.(087)869-3710
施設管理課
TEL.(087)869-3700 FAX.(087)869-3703
企画情報課
TEL.(087)868-9901 FAX.(087)869-3710
ファンド事業推進課
TEL.(087)868-9903 FAX.(087)869-3710

企業振興部

〒761-0301 香川県高松市林町2217-15
香川産業頭脳化センタービル2F
企業支援課
TEL.(087)840-0391 FAX.(087)869-3710
取引支援課・海外展開支援室
TEL.(087)868-9904 FAX.(087)869-3710

技術振興部

〒761-0301 香川県高松市林町2217-16
FROM香川1F
産学官連携推進課・研究開発支援課
TEL.(087)840-0338 FAX.(087)864-6303

地域共同研究部

〒761-0301 香川県高松市林町2217-43
RISTかがわ1F
研究管理課・研究開発課
TEL.(087)869-3440 FAX.(087)869-3441

知的財産支援部

〒761-0301 香川県高松市林町2217-15
香川産業頭脳化センタービル2F
知的財産支援課
TEL.(087)867-9332 FAX.(087)867-9365
知的財産普及課
TEL.(087)869-9004 FAX.(087)867-9365



この印刷製品はグリーン基準に適合した印刷資材を使用し、グリーンプリンティング認定工場が印刷した環境配慮製品です。

印刷:香川印刷株式会社